



安心できる 見守りの目

とは 

防犯活動を意識しない「自然な人の目」が「犯罪に巻き込まれるかも知れない」という不安の解消に効果が高いことがわかってきました。

見守りの目1 機械の目








- 防犯カメラ
- 照明灯

見守りの目2 組織の目

- 町会・自治会・自警団
- 自主防犯パトロール
- 警察官等

見守りの目3 自然な人の目

-  犬の散歩
-  ウォーキング
-  花を愛でる
-  花壇・公園管理
-  日常業務中 等

Etc.

その他見守りの目



【検証論文 QR】



住民が不安に感じる場所と各見守り方法によるカバー率

【略歴】

筑波大学大学院システム情報工学研究科修了(博士・社会学)。科学警察研究所研究員、東京大学空間情報科学研究センター助教を経て現職。

専門は都市計画、犯罪学、犯罪分析と防犯まちづくりに関する多くの論文を発表。著書に「犯罪と市民の心理学」(北大路書房)等。

ながら見守り活動が地域の不安を解消します。

地域の安心のためには、機械の目、組織の目、自然な人の目を効果的に組み合わせることが有効です。

なかでも自然な人の目は、地域の皆さんの安心に寄与することが知られています。



雨宮 護 (あめみや まもる)

筑波大学准教授

足立区防犯まちづくり推進アドバイザー

ながから見守りは

こうして生まれた